

## 平成30年度第1回栄養部会研修会レポート

記録者 介護老人保健施設 なでしこ 青木 麻紀子

研修日時：平成30年7月11日（水） 10：30～15：30

研修場所：山口県セミナーパーク 一般研修室201

研修内容

10：30～12：00 講演『平成30年度介護報酬改定について』

講師：食のこんしえるじゅ代表 松村史樹先生

午前の講演では栄養士業務に関わる制度として、通所（栄養スクリーニング加算・栄養改善加算）と施設（再入所時栄養連携加算・低栄養リスク改善加算・栄養マネジメント加算・療養食加算・経口移行加算・経口維持加算・褥瘡マネジメント加算）のサービスの新しくなったこと、改定されたことを一項目ずつ細部まで説明していただいた。またそれぞれに関するQ&Aや書式例などを用いて、分かりやすく教えていただいた。



13：00～14：30 講演及びグループワーク『非常時を想定してみよう』

講師：食のこんしえるじゅ代表 松村史樹先生

非常とは、普通でない差し迫った状況・状態や思いがけない変事が起こることである。災害・豪雨・雷・台風・・・そういった非常時を想定し、訓練などで検証しマニュアルを作り準備することが必要であることを学んだ。緊急時の組織体制を整え、警戒レベル別の対応（危険箇所・避難方法）などを平日頃から考え、非常時に備えていけたらと思う。グループワークでは立地条件が同じような施設でグループ分け（山間部・海岸部・平野部）をして、今現在の施設の備蓄食の有無や賞味期限の近くなった備蓄食の使用方法、訓練の体制、非常時マニュアルがあるかなど各グループでそれぞれ意見交換を行った。

14：45～15：30 グループワーク『経口維持加算について』

講師：食のこんしえるじゅ代表 松村史樹先生

- ① 施設にSTがない場合、嚥下評価はどの職種がおこなっているのか？
- ② 摂食嚥下障害について多職種がどのような関わりをされているか？
- ③ 摂食嚥下障害のある利用者（入居者）が在宅に帰るときにどのような指導やアドバイスをされるか？
- ④ 嚥下障害の方のおやつはどのようにしているか？

以上4項目について各施設で取り組んでいることなどを30分程度グループ内で話し合い、グループで出た意見を代表者の方に発表していただいた。最後に松村先生に総評していただき閉会した。

